

【令和 2 年 3 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 2 年 3 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 2 年 3 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【新型コロナウイルスの影響は全業種に拡大され業況は悪化の一途となった】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-48.3（前月-25.7、前年同月-10.5）で、前月比 22.6pt 悪化した。新型コロナウイルスの影響は全業種におよび製造・建築業では受注の減少、小売・サービス業からは著しい売上の減少が多く聞かれ逼迫した状況である。

【製造業】

業況は-44.1（前月-29.5、前年同月-7.8）と前月に比べ 14.6pt 悪化した。製造業においては新型コロナウイルスの影響から大手企業の製造ラインのストップにより受注減少の報告が各地から上がっており、業況を押し下げた。

【建設業】

業況は-44.1（前月-14.6、前年同月-14.7）と前月に比べ 29.5pt 悪化した。中国及び海外からの資材入荷の遅延は水回り設備や電気部品等多岐に渡り、引き続き工事の停止・遅れが発生している他、工事自体の取止め・延期が多発する等今後の不透明さも要因となり、業況は大幅に悪化した。

【小売業】

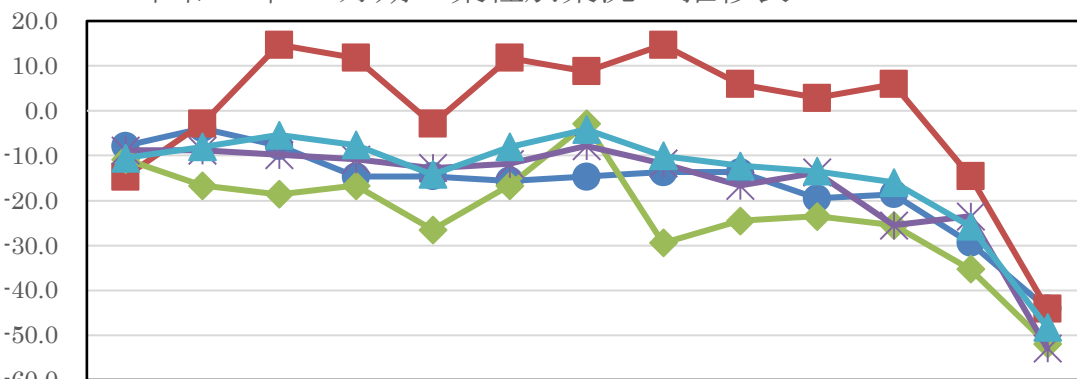
業況は-52.0（前月-35.3、前年同月-10.8）と前月に比べ 16.7pt 悪化した。新型コロナウイルスの影響で、食料品小売業以外の小売業は軒並み売り上げが減少傾向となった。外出自粛の影響は著しく、地域の活気も無い状況である。

【サービス業】

業況は-52.9（前月-23.5、前年同月-8.8）と前月に比べ 29.4pt 悪化した。GWまでの予約が 8～9 割減少との報告もあり状況は深刻であり業況は大幅に悪化となった。インバウンド市場に頼った業態事業者や家族経営の民宿など、早急な支援策を必要としている。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：小磯〕

＜令和2年3月期 業種別業況DI推移表＞



	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3
DI値（製造業）	-7.8	-3.9	-7.8	-14.7	-14.6	-15.6	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1
DI値（建設業）	-14.7	-2.9	14.7	11.8	-2.9	11.8	8.8	14.7	5.9	2.9	5.9	-14.6	-44.1
DI値（小売業）	-10.8	-16.7	-18.6	-16.7	-26.5	-16.7	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0
DI値（サービス業）	-8.8	-8.8	-9.8	-10.8	-12.8	-11.8	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9
DI値（全業種平均）	-10.5	-8.1	-5.4	-7.6	-14.2	-8.1	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・新型コロナウイルスの影響で、生産量を抑えざるを得ない状況が続き、売上が減少するなど経営に大きな損失をもたらしつつある。(伊豆)
- ・機械金属製造業では、米中貿易摩擦に追い打ちをかけて新型コロナウイルスの影響が深刻で、売上が5割以上落ち込んでいる事業所もあり業況は悪化している。(富士駿東)
- ・食料品については、直接小売りへ販売しているところは不変だが大手へ卸しているところは受注が減少している。(中部)
- ・受注が減少している。大手の稼働がストップしてしまうと影響は避けられない(中東遠)
- ・ヤマハ・スズキの製造ライン停止を受け、仕事が非常に薄い。(西遠)

【建設業】

- ・春以降に依頼されていた工事がキャンセルになるなどの状況もみられている。(伊豆)
- ・資材の入荷待ちで工事が止まっている、新建材・住設品の電気系部品・金物部品が入らずメーカー受注停止の影響で施主からの代金回収が困難。(富士駿東)
- ・新型コロナウイルスの影響で水廻り設備(中国産)の入荷が遅れ納期も遅れている。(中部)
- ・設備の一部、海外製造品が入荷しない為、完成引き渡しに遅れや、急遽国産品へ変更等、工期延長で利益減。(中東遠)
- ・4月からのリフォーム工事が取止め・延期になる等、今後の見通しが不透明である。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・食品小売業などでは昼食分の一時的利用増加もみられているが、小売業全体では消費増税の影響も含めて悪化傾向にある。(伊豆)
- ・新型コロナウイルスによりマスク等の衛生用品の供給不足は回復の兆しが無い。(富士駿東)
- ・食料品は安定しているが、その他は悪化している。(中部)
- ・新型コロナウイルスの影響で市内全域活気が無くなり来店者が減少している。(中東遠)
- ・新型コロナウイルスの影響で外出を控えているのか惣菜類の売上が増加している。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・旅館業において、日帰り温泉客は微減だが常連客の来店頻度が減少している。GWまでの予約は8~9割減少している状況である。(伊豆)
- ・洗濯・理美容業において、卒業式等が無くなった影響で売上は減少している。(富士駿東)
- ・旅館業では収入がなく税金の延納相談等増加し経営状況に大きな影響が出ている。(中部)
- ・旅館等は全キャンセルとなった事業所もあり新型コロナウイルスの影響は大きい。(中東遠)
- ・中国からのインバウンド100%の宿泊業において、新型コロナウイルスの影響で1年半ほど休業を予定している。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年3月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-55.8	-44.2	悪化
売上	-50.0	-44.1	減少
仕入単価	-2.9	-2.9	不変
採算	-50.0	-35.3	悪化
資金繰り	-55.9	-29.5	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.5	-17.7	悪化
売上	-20.6	-17.7	減少
仕入単価	2.9	5.9	低下
採算	-17.6	-8.8	悪化
資金繰り	-11.8	-3.0	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-50.0	-26.5	悪化
売上	-44.1	-23.5	減少
仕入単価	-8.8	8.8	低下
採算	-38.3	-17.6	悪化
資金繰り	-41.1	-20.5	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-44.1	-14.6	悪化
売上	-38.2	-14.7	減少
仕入単価	2.9	20.6	低下
採算	-41.2	-17.6	悪化
資金繰り	-44.1	-17.6	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-61.8	-41.2	悪化
売上	-58.8	-32.4	減少
仕入単価	2.9	2.9	不変
採算	-50.0	-29.4	悪化
資金繰り	-50.0	-32.4	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-41.1	-29.4	悪化
売上	-17.6	-26.4	増加
仕入単価	23.6	17.6	上昇
採算	-32.3	-32.3	不変
資金繰り	-38.2	-20.6	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-53.0	-35.3	悪化
売上	-55.9	-26.5	減少
仕入単価	5.9	8.8	低下
採算	-38.3	-17.6	悪化
資金繰り	-44.1	-20.6	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.9	-29.5	悪化
売上	-61.9	-35.3	減少
仕入単価	-8.8	5.9	低下
採算	-58.9	-26.4	悪化
資金繰り	-61.8	-29.4	悪化

9.洗濯業

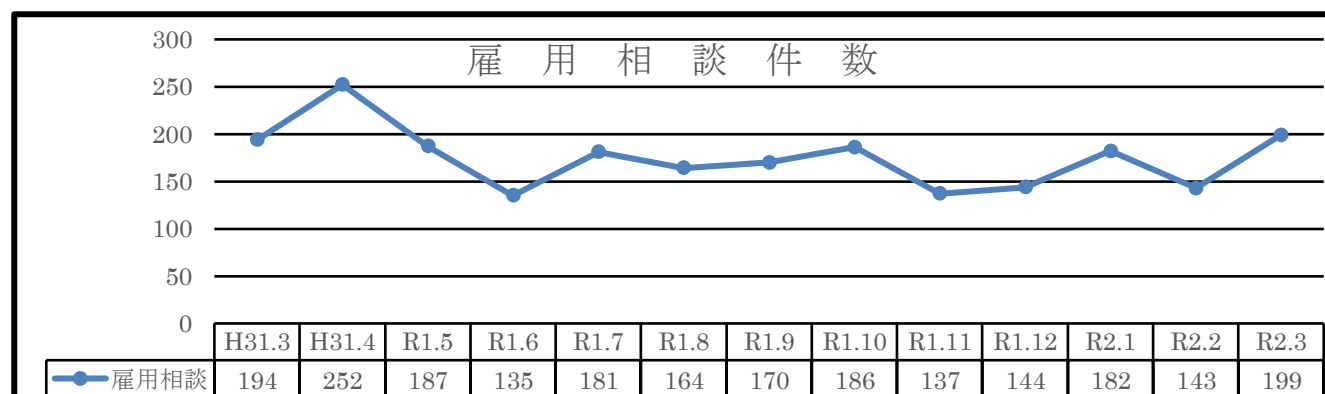
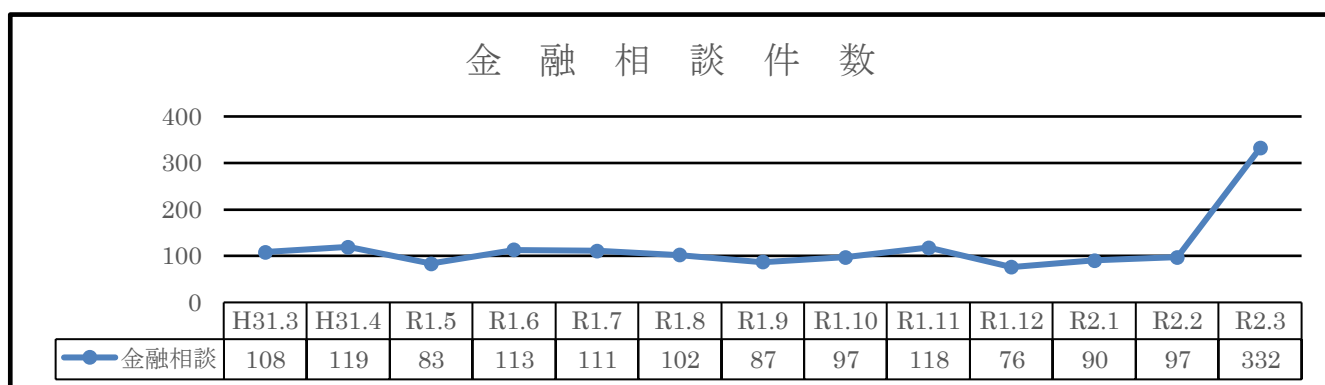
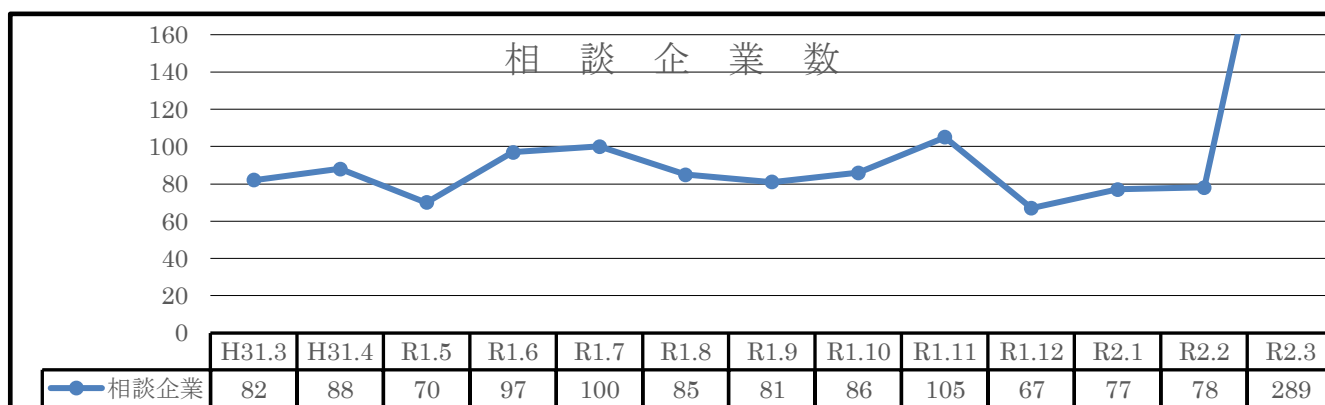
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-47.0	-23.5	悪化
売上	-50.0	-23.6	減少
仕入単価	5.9	14.7	低下
採算	-32.4	-14.7	悪化
資金繰り	-23.6	0.0	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-52.9	-17.6	悪化
売上	-58.8	-14.7	減少
仕入単価	-5.9	5.9	低下
採算	-44.2	-17.6	悪化
資金繰り	-41.2	-11.7	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年3月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	289	78	211
【金融相談件数】	332	97	235
新規融資（借換えを除く）	218	51	167
既存債務の借換え	73	22	51
借入れ条件変更	4	4	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	37	20	17
【雇用相談件数】	199	143	56



【金融相談】

金融相談件数は、332件と前月(97件)に比べ235件増加した。緊急の運転資金の確保のため、国・県等の施策による融資制度活用相談が急増している。4月には緊急事態宣言が全国に拡大され、今後も新型コロナウイルスの影響による金融相談は増加が予想される。

<経営指導員コメント>

- ・新型コロナウイルス感染の関係で3月後半から徐々に相談申し込みが増えた。(伊豆)
- ・新型コロナウイルス関連の融資相談が激増。新型コロナウイルスマル経、特別貸付ともに相談件数が多い状況である。(富士駿東)
- ・新型コロナウイルスの影響による融資相談が増加。公庫と民間金融機関、どちらの制度が有利か悩まれる方も多い状況となっている。(中部)
- ・飲食店や宿泊業者から新型コロナウイルスの影響での運転資金借入相談が増えた。(中東遠)
- ・新型コロナウイルスに関する無利子無担保融資など制度説明依頼の増加が著しい。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、199件と前月(143件)に比べ56件増加した。雇用助成金の活用を検討する事業所の増加により相談件数が急増した。雇用助成金含めた各新型コロナウイルス対策の新制度は利用範囲・期限など随時変更もある為、情報収集にも注力し事業所の対応を行っている状況である。

<経営指導員コメント>

- ・旅館業等は4月9割の予約キャンセルなど大きな影響が出ているため雇用調整助成金の活用検討事業所が増えている。(伊豆)
- ・新型コロナウイルスの影響による雇用調整助成金の相談、問合せが増加した。(富士駿東)
- ・年度末なので従業員の出入りが多い。また、新型コロナウイルスの影響での雇用助成金の相談が増えてきている。(中部)
- ・雇用助成金の相談案件が下旬から著しく増えてきている。(中東遠)
- ・新型コロナウイルスの影響で、売上減少に伴い賃金支払いについて、雇用調整助成金やその他活用可能な助成金の問合せが増加した。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・3/22(日)に予定していた河津寄って軽トラ市が新型コロナウイルスの影響で中止となったほか、地域の各種イベント(卒業式、区総会など)も縮小する形が目立った。(河津町)
- ・観光利用による産業が中心の当町では外出自粛要請による今後の旅行キャンセル拡大が懸念される。GWや7月以降の夏期海水浴シーズンの影響も心配されている。(南伊豆町)
- ・例年であれば桜の開花に合わせたイベントがあるが軒並み中止となっている。5月下旬にはタカアシガニの放流イベントも予定されているが実施について協議される。(沼津市)
- ・富士市内には寒桜の名所(龍巖淵)があり、昨年多くのバスツアーが来訪したが、今年はほぼ全てツアーキャンセルとなった。(富士市)
- ・新型コロナウイルスの影響を考慮して4/29の大井川港朝市は中止となった。(大井川)
- ・市内で県内2人目の新型コロナウイルス感染者が出た影響が大きく、市の方針もあり人数に限らず全ての行事の中止、施設の臨時休館で市内の活気がなくなった。(浅羽町)
- ・新型コロナウイルスの関連で、商工会が関わる春野町のイベントで5月下旬開催予定の「オールドカーin K's Rosd」中止が決定した。(天竜)
- ・4月から7月までの第3土曜日に毎年舞阪漁港で開催する、えんばい朝市が本年度は中止となった。3月21日からシラス漁が解禁され解禁日は豊漁であったが、それからは風が強いなど休漁もあり、品質もあまり良くないようである。(浜名)